

調 査 概 要

1. 照明車・衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT)等による 24 時間の流況監視

○調 査 者：天竜川上流河川事務所職員 4 名

○調査概要：昨日の 16 時 30 分より職員が現地にて水位等の状況監視を実施した。昨日の 20 時頃より、徐々に減水状態が回復している状況を確認することができ、本日 8 時 30 分に平常時の水量になったことを最終的に確認した。

2. 合同現地調査

○調 査 者：天竜川上流河川事務所職員 1 名

長野県伊那建設事務所職員 2 名

駒ヶ根市職員 2 名

中央アルプス観光株式会社 1 名

○調査概要：駒ヶ根橋からしらび平までの間、太田切川及び中御所川において主要地方道駒ヶ根駒ヶ岳公園線から視認できる箇所について調査を行った。雪崩の発生箇所、沢の合流地点周辺、堰堤周辺、河川の狭小部を中心に調査を行ったが、河道閉塞等異常箇所は見受けられなかった。

3. 探査用ラジコンヘリによる調査

○調 査 者：一般社団法人南信防災情報協議会 6 名（「災害又は事故における緊急的な調査の支援に関する協定(平成 21 年 6 月締結)」に基づき、天竜川上流河川事務所長が出動要請）

天竜川上流河川事務所職員 1 名

○調査概要：主要地方道駒ヶ根駒ヶ岳公園線の駒ヶ根橋から中部電力中御所発電所までの区間について、道路からの視認確認、および一般社団法人南信防災情報協議会が手配した「探査用ヘリコプター（ラジオコントロールマルチローター機・ラピト 650 X）」で太田切川上空からの写真撮影による調査を実施した。調査の結果、雪崩等の痕跡は確認できたものの、河道閉塞等の異常箇所は確認できなかった。

4. 国土交通省防災ヘリコプター「まんなか号」による調査

○調 査 者：中部地方整備局河川部職員 1 名

天竜川上流河川事務所職員 2 名

○調査概要：天然ダムによる河道閉塞を確認するために、国土交通省中部地方整備局所有の『まんなか号』により、上空からの緊急ヘリ調査を実施した。調査箇所は、天竜川合流点から太田切川を上流に遡り、本谷、支川の中御所川、北御所川、黒川について源頭部付近まで目視調査を行った。その結果、この数日の急激な温度上昇と降雨に伴う小規模な雪崩を数ヶ所確認したが、河川を閉塞する規模の土砂崩落等の形成及び痕跡は確認することができなかった。